

地域づくり型生涯学習講座コーディネート事業

飛騨地区社会教育委員・公民館連絡協議会 事例発表とワークショップを開催



高校生の社会教育活動事例発表を受けたワークショップ

コーディネーター

大八まちづくり協議会事務局長 山本 真紀 氏

地域コミュニティ診断士 加藤 伸二 氏、小峠 賢次 氏、見廣 貢輔 氏

日 時 令和8年8月24日(月) 13:30～16:00

場 所 飛騨総合庁舎 大会議室

対 象 社会教育委員、社会教育団体・行政・学校関係者 高校生等 67名

内 容

- ・高校生の事例発表を題材にKJ法を用いたワークショップにより、参加者が主体的に議論に参加し、新たな視点や考え方を学んだ。
- ・「高校生の活動をさらに広め、発展させていくためのアイデア」や「地域づくりのために自分たちができること」のテーマに対し、意見を深く掘り下げる問いかけが行われ、内容が深化したワークショップとなった。

参加者の感想

- ・自分自身の興味・関心で活動を行っている生徒たちがいて、こういった若者が増えるといいなと感じた。よりよいまちづくりのため若者から高齢者まで一丸となって進めていけるとよい。
- ・もっと時間をかけて話を整理したり対話を深めたかった。あと30分欲しかった、そう思えるほどよい研修会でした。

主催者の感想（コーディネート事業を利用して）

- ・今回の研修を通して、参加者それぞれが具体的な行動計画を立てることができた。
- ・今後は、計画を実際の行動へつなげていくことが重要であり、各地区の取組状況や進捗を確認し、情報共有を通じて、地区全体の取組の充実とさらなる発展を図りたい。